

サニーバイタル®

成り疲れ予防・軽減・回復

麦芽発酵物+メチオニンが効果を発揮

- 根圏を充実させ、養分の吸収力が向上
- 成り疲れの予防・軽減・回復による、安定多収
- 麦芽発酵物などの各種有機物により果実品質が向上

*イメージ図

サニーバイタル



安定多収
品質向上

発根・養分吸収UP



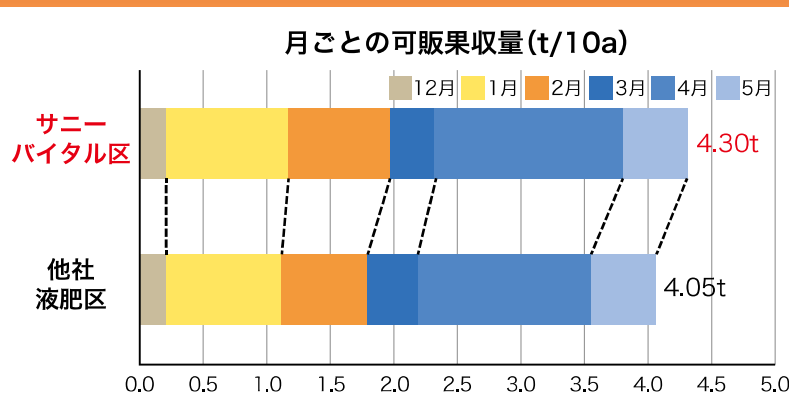
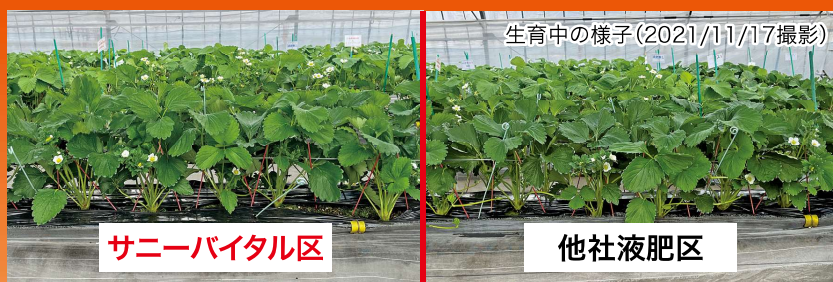
肥料登録品	容量……………6Kg/本(約5L) 肥料登録番号…生第107216号
保証成分量 (%)	窒素全量……………6.0 水溶性りん酸…3.0 水溶性加里………1.0

イチゴの試験例

葉全体が立ち上がり、草勢や花付きが良好

厳冬期の収量安定、成り疲れの予防・軽減・回復

試験地：熊本県
試験期間：2021年9月～2022年5月
栽培方法：高設栽培
10/15以降、サニーバイタルまたは他社液肥を500倍希釈し、各株元に330mL(原液0.66mL)を隔週で灌注処理。
他社液肥は窒素成分10%



ピーマンの試験例

根のボリュームが増加

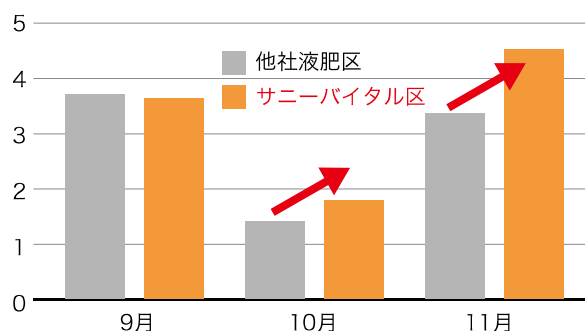


栽培終了後の地下部(2021/12/3撮影)

試験地：熊本県
 試験期間：2021年6月～2022年11月
 栽培方法：30cmポットでの栽培(夏秋作型)
 サニーバイタルまたは他社液肥を500倍希釈し、6月下旬以降、
 0.7L(原液1.4mL)/ポットを隔週で灌注処理。他社液肥は窒素成分10%

成り疲れが軽減され、栽培終盤までしっかり収穫

栽培後期の月別収量(kg/株)



	総収量 (kg / 株)
他社液肥区	12.3
サニーバイタル区	13.4

使用例

葉面散布	希釈倍率	500～1,000倍
	使用量	200～300L/10a
土壌灌注	原液換算で10～20kg/10aを適宜希釈	
作物	使用時期	目的
果菜類	定植時	発根、活着促進
	定植以降、特に生育中後期	養分の吸収促進 果実の肥大促進、品質向上 成り疲れの予防・軽減・回復

- 本品を利用する場合、肥料は従来と同じ量を施肥することをおすすめします。
- 使用量は作物の種類や大きさ、使用する環境や場面、方法などで適宜調整してください。

【使用上の注意】

- ・石灰硫黄合剤と混合すると有毒ガスが発生する恐れがありますので、混用しないでください。
- ・金属容器は本液で徐々に腐蝕される危険性がありますので、ご注意ください。
- ・原液あるいは濃度の高い液肥が直接葉や新芽にかかると、肥料焼けの危険がありますので、注意してください。
- ・強いアンモニア資材とは混用しないでください。アンモニアが発生し植害を起こすことがあります。

<応急措置>

- ・飲み込んだ場合：直ちに医療措置を受ける手配をし、医師の診断を受けてください。
- ・眼に入った場合：直ちに十分な水で15分以上洗い、至急医師の診断を受けてください。

<保管方法>


- ・直射日光や雨露を避け、冷暗所で幼児の手の届かない所に食品と区別して保管してください。
- ・冬期間は凍結しないように屋内等で保管してください。

住化農業資材(株)
 取り扱い製品情報



販売店

販売元

 住化農業資材株式会社

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目6番17号